

鳥栖とりっぷ

Tosu Trip

ちょっと鳥栖でひと遊び

歴史 **田代宿** コース



多くの旅人が集まった田代宿を感じる

文明ロード「長崎街道」に欠かせなかった宿場が鳥栖には2つあります。そのひとつが「田代宿」です。田代宿の付近には、その賑わいを感じる町並みが今も残っています。のんびりと歩きながら、昔の人々の気分になってみましょう。

所要時間
およそ
2.5時間



- 鳥栖駅** ①
▼ JR鹿児島本線2駅
- 弥生が丘駅** ②
▼ 徒歩約18分
- 今町・東公園** ③
▼ 徒歩約30分
- 伝・代官所通用門** ④
▼ 徒歩約10分
- 田代八坂神社** ⑤
▼ 徒歩約10分
- 宿場の中心(上町・下町)** ⑥
▼ 徒歩約15分
- 外町追分石** ⑦
▼ 徒歩約8分
- 田代駅** ⑧
▼ JR鹿児島本線1駅
- 鳥栖駅** ①



裏面マップA.B.C-④⑤参照 ※道が狭くなっている所があるので、通行にご注意ください。

長崎街道、紀行文に残る町

今町・東公園 ③

江戸初期に立てられた町。江戸時代の紀行文に「人家あり。今町といふ。道の左に石あり。庚申尊天とゑれり…」と記されています。すぐそばには広大な東公園があります。公園付近には江戸時代から残る「檀畑」があり、紅葉時の風景が大変美しいです。



官庁クラスが集まった界隈

宿場の中心(上町・下町) ⑥

この道筋は官庁街として繁栄した町(上町・下町)でした。代官所をはじめ藩校や藩専売の主法方、長崎奉行、幕府役人、オランダ館館長などが宿泊した上使屋の他に、高札場や問屋場が並び、政治や経済、文化の中心地として多くの人から注目される界隈でした。



総檜造りの門、対馬藩主の家紋に注目

伝・代官所通用門 ④

もともと代官所があった場所の通用門を現在地に移築したと伝えられている門です。総檜で棟木の破風飾りに対馬藩主宗家の家紋がついています。



「長崎道」と「久留米道」の分岐点

外町追分石 ⑦

「右さか、左くるめ道」長崎街道の面影が残る道。旅人の安全を見守り続けた「地藏堂」を背景に記念写真はいかがでしょうか。



商人達の願いを叶える

田代八坂神社 ⑤

戦国時代の領主、筑紫氏が勧請した神社。江戸期には疫病、病虫害、風水害を防除する神として信仰され、境内にある大黒さんは餅とねずみで表されています。



フムフム
鳥栖
コラム

あのシーボルトもここに宿泊!

田代は対馬藩の「代官所」が置かれていた町であったと同時に、長崎街道25宿、57里のうちに数えられる宿場町でもありました。江戸時代の後期の記録によれば、「人家500軒計、町5丁計につけり、茶屋、宿屋多し」とあり、長崎街道を往来する大名、長崎奉行、幕府役人などが宿泊する「上使屋」は田代下町に、旅人は田代外町の荒木屋・肥前屋などの「旅籠」に宿泊しました。

